

平成21年7月



おかむら通信 第51号



通院される患者さんへ

新型インフルエンザも徐々に平穩におさまりつつありますが、世の中の不景気はいまだ良くなりそうにありません。特に弱い立場の方へのしわ寄せは、人間のやることとしてあまりいいことではありませんね。皆さん方には、これから暑い季節が待ち受けています。どうか体に気をつけてください。心の健康にも気をつけてください。

ある患者さんから、高血圧は治るのでしょうか？ へのお答え

ご自分の食生活、職場環境などにより生じたものは、たとえば、塩分の強力な制限、毎日の適度な運動、メタボの改善、ストレス管理ができれば、比較的早く正常化してゆきます。

しかし、現在の最先端の医師たちの判断では、高血圧には、糖尿病、高脂血症、虚血性心疾患などの病態や病気の素質が同時にひそんでおり、血圧の測定だけでは、病気の本当の効果的な判定や治療はできない、とされています。表に出てきていない患者さんの気付かないものがあるのです。

つまり、医師による綿密な診察・判断・治療と、患者さんの協力・ともに直してゆくのだという姿勢が大事です。

外来で、血圧だけ見て、上がりすぎた、下がりすぎた、正常になったから薬はいらない、自分はこんなに頑張っているのになぜ血圧が目指す値にならないのか、血圧が正常になれば治ったことになる、治ったから薬はいらない、という考え方はとても危険なのです。急なまるで事故にあったかのような脳溢血、急性心筋梗塞にならないようにするとともに、隠れて合併している糖尿病、高脂血症、心筋梗塞、脳梗塞などの治療も含まれることとなります。くれぐれも、故意にみなさまを欺く宣伝や情報操作に踊らされないでください。

頸動脈超音波ドップラー検査の重要性

最近、当院では頸動脈のプラーク形成や壁の肥厚等の異常所見を発見し早めの治療に役立てるために検査をおすすめしています。安全で患者さんに負担の少ない実に有用な検査であります。病気の予後、脳溢血、心筋梗塞発生の危険性などの予測に優れています。血栓予防治療の開始の判断に有用です。





皮膚瘢痕性肥厚（ケロイド）の治療

なかなか治りにくかったこの病気に新しく当院では、治療薬を手に入れました。どうぞお悩みの方は、ご相談ください。

海外ドクターツアー フィリッピン 第2シリーズ

が院内待合室に掲示されています。ご覧ください。セブ島から、より貧しい地域のバコロド市へ場面は移ってきます。フィリピンの医師たちの素顔が見られます。また看護師たちのきびきびしたたち振る舞いの一端が見えます。第3シリーズは、意外な地元の方々との懇親会の様子をごらんください。

松本管理栄養士 から

梅雨に入りムシムシした日が続くと増えてくるのが「食中毒」です。ご家庭で食中毒をおこさないための3つのポイントは、①調理の前、中、後の手洗い。②調理器具、食器、布類を清潔にしておく。③食材、料理の適温管理、です。生の肉、魚、卵などには特に注意してください。包丁の使い分け、も大切。冬場と違い食べ物は室温でも痛みやすいので長時間の放置はいけません。バイ菌をつけない・増やさない・殺菌するに尽きます。

院長の6月の院外の仕事、代表的なもの

- /08 昼 当院にて/MCS来院、EMIネットの改良
- /11 夕方 千葉市にて/千葉県医師会医療情報システム委員会/国の医療情報化と問題点
- /16 夜 医師会にて/松戸市医師会定例理事会/新型インフルエンザ・EMIネットについて
- /22 夜 当院にて/アボット社による全国テレカンファレンス/FDについて
- /25 昼 当院にて/NTT, MCS, BML社による院内にあたらしいITシステム第1段
- /25 夜 松戸市立病院にて/松戸市電子医療情報ネットワーク事業参加機関連絡協議会(会長)/ついに国が動き出した医療再生のための大規模なIT化推進事業計画
- /26 夜 当院にて/友人のSanjayと世界のIT化などについて議論

梅雨空の続く毎日ですが、皆様はどのようにお過ごしですか？
雨の休日は、けっこうのんびりとした気分で本を読んだり、
少くらの雨だったら、お散歩にも行きます。

買い物でも、ランチでも「雨の日サービス」があたりして、
晴れの日とは、また違った楽しさがありますよ。

51号担当の古谷でした

